

# 寄付

ありがとう  
ございました

曹熙哲様 山田至宏様 山田秋子様 新田裕子様  
穂山眞之様 神谷育司様 伊豆稲取清光院様  
株式会社ワイティーエス様 株式会社ケイジェイシー様  
ダスカジャパンアウトテック様 静岡トヨペット様  
東静岡ヤクルト販売株式会社様

お寄せいただいた寄付金は施設整備のため使用させていただきます。どうもありがとうございました。

# 帰省について



帰省期間  
5月1日～5月5日 5月21日～5月23日  
6月18日～6月20日 7月23日～8月15日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しくお願い致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性があります。ご承知ください。

# 新任職員紹介

よろしく  
お願いします

今年度より保育士として、7年ぶりに川奈臨海学園で働くことになりました、鈴木志穂と申します。当たり前ですが、7年前まだ幼児さんや小学校低学年だった子どもたちが、中学生のお兄さん、お姉さんになっており、月日が経つ早さを感じるとともに、健やかに育っている姿を見ることが出来、感慨深い気持ちです。施設内にある桜の花びらは散ってしまいましたが、季節折々の自然を子どもたちと一緒に感じながら、子どもたちが安心して生活できるような環境作りに努めていきたいと思っております。

初めまして。川奈臨海学園の新人職員となりました、長橋 洸太と申します。大学では心理学を学び、子どもと関わるのが好きだったことから、川奈臨海学園への就職を決めました。保育の実習や教養を中心には学んでおらず、子どもたちとの関わり方や育て方についての知識や経験が少ないため、日々の仕事で得たこと一つ一つを慎重に受け止め慣れていきたいと考えています。子どもたちとの生活の中で様々な経験をし共に成長していくことで、子どもたちの自立を促すような責任のある行動をしていきたいと思っております。

(保育士 長橋 洸太)



(里親支援専門相談員 鈴木志穂)

# 編集後記



桜の花びらが舞う中、南中学校の入学式に参加してきました。学園からの新入生2名とも、呼名の際には大きな声で返事をしていてとても立派でした。新しい環境でも力いっぱい頑張ってください。(保育士 綿貫 ころ)



# 令和3年度 学園だより 春 第559号

## 新しい施設で 新年度スタート!

施設長 竹居 昭子

新年度となり、それぞれ一学年進級し4月を迎えました。念願だった川奈臨海学園の改築。いよいよ完成し、5月中旬から新しい施設での生活が始まります。小規模化により家庭に近い支援を行います。今までの大舎制からの引っ越しとなり、子どもたちも職員も希望と不安を持ちつつ、新しい施設での生活を心待ちにしています。○子どもたちのことを受け止めて。○良いところを褒めて。○笑顔で対応。このことを職員は日々取り組んでいます。子どもたちへ寄り添い、悩みを聞き、子どもたちを理解することを大切にしています。思春期を迎えている子の対応は難しいこともありますが、受け止めることで信頼関係は築くことが出来ます。健康には十分気をつけて、笑顔で子どもたちと接していきます。

4月13日 現在の様子!



## 施設名・住所 変更のお知らせ

施設の引っ越しに伴い、令和3年4月1日を持ちまして施設名と住所の変更がございます。ご確認をお願い致します。

施設名 変更前→「静岡県川奈臨海学園」  
変更後→「川奈臨海学園」  
住所 変更前→「伊東市川奈 510-7」  
変更後→「伊東市川奈 509-7」

## 苦情受付について

保護者様から職員の対応について、「ありえない対応である」とご意見をいただきました。関係職員への聴き取りを行い、その保護者様へお伝えしました。ご理解いただけましたが、日頃から職員の声の大きさ、言葉の荒さを感じる場面があることをご指摘いただき、その点についても真摯に受け止め、職員全体で確認致しました。子どもたちと信頼し合える関係を大切にしていきたいと思っております。(苦情解決責任者 施設長 竹居 昭子)

## 卒業を祝う会

3月15日、川奈臨海学園にて、卒業を祝う会を行いました。今年は幼稚園卒園の女子、小学校卒業の女子2名・男子2名、中学校卒業の女子2名・男子3名、高等学校卒業の女子1名、計11名が新たな道へと進んでいきました。卒業生には各担当職員から通学バック、目覚まし時計といった記念品が贈られました。担当職員から記念品を受け取ると少し照れ臭そうに、「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。

夕食には、リング状のおにぎりははじめとした豪華な食事とデザートにケーキが出ました。リング状のおにぎりは児童にとっても人気で、3種類の中から好きなものを選ぶ形をとっていましたが、ほとんどの児童が3種類全てを手に取り食べていました。どの児童もとても満足した様子でした。

(保育士 加藤 幸大)

